



令和2年5月1日現在	
人	14,108人
男	6,808人
女	7,300人
世帯数	6,644戸

本郷地区町内公民館長会長に就任して



大輪 百合子
本郷地区町内公民館長会長

初めての会長職、他の町会のこととはまたよくわかりません。橋本本郷公民館長、小山主事等の教えを、また26町会の公民館長のご協力をいただきながら一年間務めていきたいと思っております。

「新型コロナウイルス」今年2月に初めて耳にした時、ここまで世界中に感染が拡大するのを誰が想像したでしょうか。4月15日に県は松本と長野の2圏域を「感染レベル2」に引き上げ、「警戒宣言」を発令。16日国は「緊急事態」を全国に拡大しました。登園自粛、休校、テレワーク、GW移動自粛、営業自粛要請、解雇：終わりが見えない、大変な世の中になりました。

「医療技術」が進化している現代、まだまだ人間の力の無力さを感じます。「ほんごう」が発刊される時、終息していることを願うばかりです。(4月22日現在)

大変な年に会長職を受けることになりました。原町会の公民館長6年目になりますが、

今年度はたして各町会が計画した行事、会議等、どの位実行できるでしょうか？中止にされるものも少なからずあることと思います。色々と工夫努力し実施できるよう頑張ります。

本郷地区の皆様が公民館活動へのご協力、ご参加をいただき各町会の公民館活動のご活躍を応援させていただきます。

本郷消防署長に就任して



飯ケ濱 洋一
本郷消防署長

4月 郷消防署長と

して、お世話になっております。本郷消防署には平成5年度から5年間勤務し、今年度が2度目となります。よろしくお願いたします。

近年火災は減少傾向ではあります。出火の原因には焚火、コンロが多く、中には「忘れてしまった」、「その場を離れてし

本郷地区生活支援員に就任して



小口 麻左美
生活支援員

4月 から地区生活支援員

として本郷地区を担当することになりました、小口麻左美です。

近くの山々の木々の緑が心地よく、古くからの文化や伝統、温泉に恵まれた環境の中、地域の皆様が大切に思う本郷地区に関わることが出来て、大変嬉しく思います。

地区生活支援員の仕事は人とひとを「つなぐ」ことです。

「まった」など、ちよつとした不注意によるものがあるため、一人ひとりが火災を絶対起こさないという意識を持つことが大事です。

また地震、台風等の自然災害が増加しており、みなさんご存じの「自助」「共助」「公助」の3助が重要で、その連携が求められています。

本郷消防署としては、地域の防火・防災力を高めるよう住民をはじめ自主防災組織、消防団関係機関との連携を密にし、安全で安心して暮らせる地域づくりに努力していききたいと思います。

住みなれた地域ですつと暮らしていくために、生活の困り事の相談窓口となります。支援を必要とする人への紹介や、それらの活動の担い手づくり、閉じこもりがちの人を通いの場や介護予防へつなげたり、ささえあいの仕組みづくりのお手伝いをします。

まだまだ始まったばかりです。これから地道に地域の集いに顔を出し、信頼できる関係づくりから始めていきたいと思っておりますので、気軽にお声がけいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

本郷公民館日程

- 6/29 公民館講座(ホタル観察会)
- 7/16 ナイターグラウンドゴルフ大会
- 8/30 文化施設視察
- 9/5 町会対抗マレットゴルフ大会
- 9/10 図書委員会文化講演会
- 10/21 町会対抗グラウンドゴルフ大会
- 11/13 11/15 本郷地区文化祭
- 12/12 ふれあいコンサート
- 2/3 図書委員会文化講演会
- 3/13 本郷里山トレッキング
- 未定 本郷公民館心理学講座(4回予定)
- 8月 浅間温泉夏祭り
- 8月 浅間温泉夕市
- 10/10 浅間温泉松明祭り
- 11/7 11/8 浅間温泉新そば祭り
- 1/11 1/12 初庚申 浅間温泉だるま市

◎新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、予定が変更、中止となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

8/29 「地区の皆さんと語る会」にて文化財の保存について熱い思いを語る教育長



5/30 要望書を市長・教育長へ提出



昨年5月の松門文庫保存に関する要望書の提出から10カ月経過した、去る3月に回答がありました。
詳細は、下記対照表をご覧ください。なお、要望に対し真摯に向き合わず、はぐらかした内容でした。

松門文庫

保存・利活用への取組み

12/20 保存に関する市文化財課の説明会



12/10 「新村公民館まち歩き講座」にて門前での説明



10/26 前庭にて信大生と住民の皆さんが夢を語る



3/18 回答書の説明をする教育部長



3/4

窓へ風雨避けの応急措置

2/21 本郷小学校5年1組の児童の皆さんによる利用活用の発表



要 望

対 照 表

回 答

- 1 松本市におかれましては、本郷・和田両地区住民の「松門文庫」に対する思いをおくみ取りいただき、この建物を文化財として残すことを確認し、地元の利活用のアイデアにあわせた建物の改修方法や資金、利活用方法の是非の検討など、保存に向けた取組みをお願いします。
- 2 時代は平成から令和にかわりましたが、江戸時代を生を受け、明治、大正時代に松本のリーダーの一人として活躍した窪田畔夫から、今まさに歴史や記憶をいかに留め伝えるかが「松門文庫」を通じ投げかけられています。
行政と住民が共に文化財を守る試金石として、私ども、行政とともに今回出された多くのアイデアや構想を実現させるため、具体的な手段や体制など出来ることを一緒に考えていく所存ですのでお願いいたします。

本市はこれまでも歴史的建造物の保存活用に取り組んできており、こうした個人所有のものに対して、国重要文化財馬場家住宅、県宝橋倉家住宅、同旧松本カトリック教会司祭館、市重要文化財高橋家住宅、同松澤家長屋門、同工女宿宝来屋、三松屋蔵座敷、旅籠松田屋など、市民からの寄附を受け、一定の改修をしたうえで博物館施設などに活用してまいりました。

しかし、こうした文化財的価値を有する歴史的建造物はまだ他にも遺されており、これらをすべて市が寄附を受け入れ、改修費用を投じて整備し活用していくことは困難な状況になっております。

昨今、こうした歴史的建造物を民間事業者が店舗や宿泊施設として活用するような事例がみられ、本市といたしましても地元の皆様や民間事業者との連携の可能性を探りながら、活用の方策を検討し、歴史的建造物の保存を図っていきたいと考えております。

今後も地元の皆様と良好な関係を築きながら松門文庫の保存活用を考えてまいりますので、何卒よろしくごお願い申し上げます。

松本市長 菅谷 昭
松本市教育長 赤羽 郁夫